

A photograph of a woman with reddish-brown hair, wearing a white t-shirt and light-colored pants, sitting on the ground at the base of a large, moss-covered tree trunk. She is looking up towards the sky. The forest floor is covered in lush green ferns and other vegetation. In the background, many other tall, slender tree trunks are visible, creating a dense forest scene.

奈良の木と暮らす

奈良の木の優れた品質を知っていますか

奈良県

奈良の木の家暮らし人々

奈良県産材で家を建てた人々の声



Report 1

(37歳 男性)



Q奈良の木で家を建てようと思った理由は何ですか

A 建築をお願いしようと思っていた工務店さんのショールームや完成見学会にお伺いさせて頂き、木の良い匂いや本当に気持ちが良い肌触り、説明してもらった奈良県産の木の強さなどを聞いて、建てるならこの木を使って建てたいと思いました。十津川村の山で実際に家に使う木を選べるというのもすごく魅力的で、家に対しての思い入れも一段と強くなりました。

Q住んでみて良かったことは何ですか

A 本当に森の中にいると思うくらい森林浴をしているようなリラックスできる空間で、木の良い匂いも最高です。無垢材の床や壁などは梅雨時でも湿度を調整してくれているようにも思いますし、冬でも床が冷たく感じません。本当に気持ちの良い家です。



Report 2 (30才 女性)



Q 奈良の木で家を立てようと思った理由は何ですか

A 結婚してからは大阪に住んでいたのですが、子供達のためにも自分の出身地である奈良で家を建てたいと思っていました。家を建てる時には自然素材や無垢材を使った家が良いと思っていたのと、工務店さんの勧めもあり、奈良県産の杉と桧を使った家を建てることにしました。

Q 住んでみて良かったことは何ですか

A 木のいい匂い、気持ち良さはもちろんですが、何よりも子供たちが気持ちいいと言って床で昼寝したり、冬でも裸足で家の中を歩いて遊んでくれています。

奈良の木の魅力

強い奈良県産材

台風や地震に耐えうる安全な建物を造るために強度は大切な条件です。

- ・ヤング係数でわかる奈良県産材の強さ

樹種	場所	林齢(年)	含水率	本数(本)	ヤング係数			
					E70	E90	E110	E130
スギ	野迫川村	60~95	10.4~30.2	54	16本 30%	23本 42%	15本 28%	
スギ	十津川村	47	6.3~29.4	144	13本 9%	131本 91%		
ヒノキ	野迫川村	52~83	10.2~16.2	65		17本 26%	40本 61%	8本 12%

スギの全国データではE70を示すものが最も多くなっていますが、奈良県産材は大半がE90以上を示します。

ヤング係数とは？

木のたわみにくさを表す数値です。

ヤング係数の数字が大きいくほど、強い材料となります。

シロアリにも強い奈良県産材

年輪幅が広いと、早材部分（春から夏にかけて成長する部分）はシロアリの食害を受けやすい傾向があります。

同じ樹種で比較してみると、年輪幅の狭い奈良県産材はシロアリにも強いと考えられます。



年輪の間隔が狭く、シロアリの食害を受けにくい

これは、野外耐蟻性試験の結果です。外国産であるホワイトウッド(スプルース)、ベイツガ、ベイマツに比べ国産材であるスギやヒノキがシロアリに強いことがわかります。

美しい奈良県産材

- ・桧は淡いピンク色

桧は敷居や柱などに使用されます。また、心材（赤味）の部分は腐りにくいので、水回りにも利用できます。

- ・杉は心材（赤味）が鮮明

杉は、鴨居、長押、回縁、天井板など木目を楽しむ場所に使われています。また柱としても利用されています。

- ・杉は清潔感が魅力

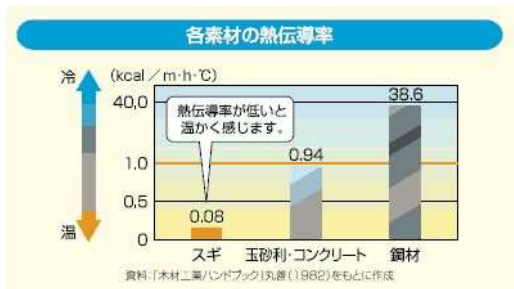
辺材は白くて美しいこと、割裂性がよいこと、年輪幅が狭いこと等から、心材を利用した跡に残った背割り部分は、高級割り箸に加工されます。



木を使うことによる効果

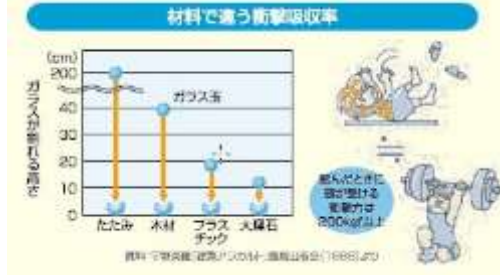
温もりがある

木材は熱伝導率が低いので、皮膚から熱が逃げにくくなります。木材の床は他の床と比べ、体が冷えにくい材料であることがわかります。



衝撃を緩和する

木材は、衝撃を吸収する働きが大きい素材です。床や壁などに木材を使用することは、歩行時の衝撃を吸収して足への負担を減らしたり、転倒しても大事に至らない安全性を持っています。



木の香りでリラックス

木の香りには、気持ちを落ち着かせ、リラックスさせてくれる働きがあります。これは、木から放出される精油成分によるものです。

ほどよい湿度を保つ

木材は、空気中の湿度が高いときには水分を吸収し、湿度が低いときには水分を放出するため、木の家では快適に過ごせます。

目にやさしい

木材は、紫外線をよく吸収するため、木材が反射する光は目に与える刺激が少ないです。

木の学校校舎に関するアンケート結果

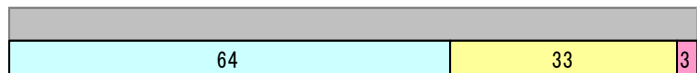
校舎の木造・木質化工事を行った学校で、木の校舎になる前となった後の両方を知る、県内小中学校の生徒・教師にアンケートを行いました。(回答数：計333)

◆◆あなたが過ごしている学校の校舎はどうですか？
木の学校になる前と比べた感想を教えてください。◆◆

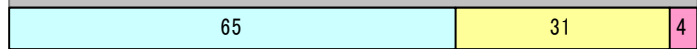
質問と回答

□ はい □ どちらでもない □ いいえ

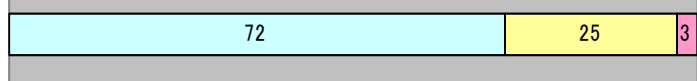
① 現在の校舎は好きですか。



② 落ち着いて生活できますか。



③ 学校校舎が木でできていることは良いと感じますか。



県産材を利用した公共建築物の例

奈良県では、奈良の木の良さを生かした公共建築物を増やしていくため、平成24年3月に「公共建築物における“奈良の木”利用推進方針」を策定しました。

case1 十津川中学校

所在地 吉野郡十津川村小原



case2 吉野中学校

所在地 吉野町河原屋



case3 桜井小学校

所在地 桜井市谷



学校をはじめとした公共建築物の木造・木質化を進めています。

公共建築物への木材利用を推進することで、県産材と触れあい、県産材の良さを実感する機会を増やし、一般の建築物への利用拡大につなげていきたいと考えています。

木造建築のふるさと奈良

「木のこころ」が息づく文化

日本書紀においては、

すさのおのみこと

「素戔鳴尊が髭を抜いてまき散らすと杉が

くすのき まき

生え、眉毛は樟に、尻毛は槨、胸毛は桧と
なった。そこで尊は、それぞれの用途を杉と
樟は船に、桧は宮殿建築に、槨は棺に使用せ
よと。なお、近海用の船には杉を、荒海を航
行するものには樟をもってせよと教えた。」

と記されています。

また、奈良には日本最古の木造建築物である法隆寺や、世界最大の木造建築物である東大寺大仏殿などの歴史的な木造建築物が多く存在します。

それらは、長い年月の間、風雨や地震などを耐え抜き、今もなおその威厳を保ち続けています。

このことから、我々の祖先は木を深く理解していたことがうかがえます。

「木のこころ」が息づく日本の文化・奈良の文化をこれからも大切にしていきます。

古より育まれてきた

「木のこころ」

が息づく奈良で

奈良の木の魅力を

感じてみませんか



川上村高原地区で伐採された 樹齢約250年のスギ

奈良の木材や奈良の木の家に関する情報はこちらまで

奈良の木ブランド課

検索

<http://www.pref.nara.jp/27678.htm>

奈良の木マーケティング協議会

検索

<http://naranoki.net/>



発行

奈良県 農林部 奈良の木ブランド課

〒630-8501

奈良県奈良市登大路町30番地

TEL 0742-27-7470 FAX 0742-27-1070